市制施行30周年記念

玉名

たまな

昭和59年10月　熊本県玉名市

玉名市民憲章

一、わたくしたち　玉名市民は
澄んだ空気ときれいな水と
緑あふれる　恵まれた郷土
玉名市の自然を大切にします

一、わたくしたち　玉名市民は
古い歴史をたたえ　若い力を育て
文化のかおる郷土
玉名市をつくります

一、わたくしたち　玉名市民は
仕事によろこびをもち　生産を高め
豊かな郷土　玉名市をつくります

一、わたくしたち　玉名市民は
きまりを守り　あたたかい心で
人に接し　住みよい郷土
玉名市をつくります

一、わたくしたち　玉名市民は
教育を重んじ　教養を高め
視野を広くし　伸びゆく郷土
玉名市をつくります

（昭和四十九年制定）

玉名市歌

一、小岱の　山むらさきに
広々と　沃野のみどり
天地の　めぐみあつめて
光りみつ　若き我が市よ
燦爛と　歴史かがやく
ああ玉名玉名　讃えよその名

二、ゆたかなる　菊池のながれ
潮騒の　歌呼ぶほとり
野に山に　幸はあふれて
潑剌と　興る我が市よ
産業の　力脈打つ
ああ玉名玉名　謳えよその名

三、ふるさとは　花もかおりて
観光の　夢呼ぶところ
ほのぼのと　湯の香ただよい
文化また　みのる我が市よ
躍進の　意気に燃えたつ
ああ玉名玉名　誇れよその名

辰巳利郎　作詞
梅沢信一　作曲

市の木・小岱松（昭和54年選定）

市の花・肥後しょうぶ（昭和54年選定）

沿革

玉名の歴史は古く縄文時代から天恵の地として知られ、弥生時代になるとはやくも大陸と交流をもち、下って古墳時代には、華麗な副葬品と共に、日本最古の漢字が彫まれてある銀象眼の太刀で有名な船山古墳をはじめ、舟型石棺（院塚古墳）や装飾古墳（ナギノ横穴群）を多数のこし、考古学上貴重な遺跡が豊富である。その後、当地方を玉杵名と呼び疋野長者の日置氏、菊池氏、大野氏の荘園として産業が興り社寺等を造営し、この地方の中心としての基礎づくりができた。当時、高瀬、伊倉の港は一時倭寇の根拠地ともなり、中国大陸や南方向けの貿易港として栄え切支丹もひろがった。

戦国時代は、諸大名争奪の地となり焼土と化したが、加藤清正公入国して治水と干拓に力をいれ、広大な新田をえて当地方は穀倉地帯として人口も増加した。細川54万石の統治下になると肥後の要衝の地として５ヵ町の一つにかぞえられ文化、経済、商業の中心地として殷賑を極めた。明治10年の西南の役には戦場の最北端として官軍の本営がおかれ、熾仁親王もとどまられ附近に多くの有名な戦跡が残っている。

明治以後は経済面の開拓が著しく、干拓による米の生産、養蚕業の振興、鉄道の開通とともにしだいに発展してきた。

昭和17年高瀬町と弥富村が合併して玉名町となり、昭和29年４月、玉名町、伊倉町、大浜町、築山村、滑石村、豊水村、八嘉村、梅林村、小田村、玉名村、月瀬村、石貫村の12ヵ町村の合併により市制が施行され、昭和31年南関町の一部三ツ川地区が玉名市に編入された。昭和35年に国道208号が市中心部を貫通、商店街の近代化に拍車をかけるとともに近代都市としての形態を整えた。

昭和45年、２市８町を包含した有明広域市町村圏の指定を受け、関連道路の整備、消防組合の設立、コンピューターの導入などの広域行政の推進とともに昭和55年には国土庁の水際緑化都市モデル地区として指定を受け、裏川・俵ころがし等を整備、玉名市外４ヵ町病院組合による公立玉名中央病院、玉名市公民館・市民図書館を併設した文化センターを建設、県北部における政治経済、教育文化、観光の中心都市となっている。

■位　置

極東	極西	極南	海北
東経 130°37′47″	東経 130°30′54″	北緯 32°50′51″	北緯 32°59′30″
梅林・奥野地区	滑石・共和地区	大浜・大栄地区	三ツ川・川床地区

◎市役所　東経 130°33′42″　北緯 32°55′30″

■土地面積

区分	宅地	田	畑	池・沼	山林	原野	雑種地	その他	計
面積（㎢）	7.48	23.82	16.47	0.08	17.54	1.20	18.17	5.54	90.30
構成比（%）	8.28	26.38	18.24	0.09	19.42	1.33	20.12	6.14	100.00

■世帯数・男女別人口の推移

（単位：戸・人）

年次	世帯数	男	女	計
大正 9年	5,872	15,083	16,350	31,433
大正 14年	5,605	16,042	16,991	33,033
昭和 5年	6,267	16,516	17,926	34,442
昭和 10年	6,433	16,769	18,099	34,868
昭和 15年	6,180	15,596	18,415	34,011
昭和 20年	8,836	21,686	24,261	45,947
昭和 25年	8,862	22,101	24,385	46,486
昭和 30年	9,501	23,296	25,727	49,023
昭和 35年	9,820	22,459	25,277	47,736
昭和 40年	10,315	21,221	24,077	45,298
昭和 45年	10,611	19,824	22,857	42,681
昭和 50年	11,298	20,100	22,737	42,837
昭和 55年	12,304	21,138	23,576	44,714
昭和 59年 4月1日	13,098	21,893	24,127	46,020

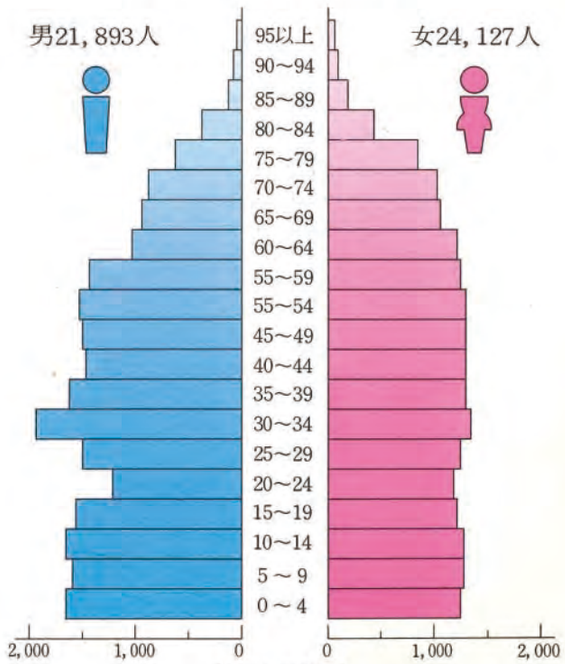
（資料：国勢調査、59年は市民課調）

■気象概況（昭和57年・58年）

月	気温（℃） 岱明		平均		極最高		極最低		降水量（mm） 岱明		総量		最大日量	
	57年	58年	57年	58年	57年	58年	57年	58年	57年	58年	57年	58年	57年	58年
1月	4.3	4.9	3.9	4.9	16.4	16.2	−4.4	−6.2	38	37	36	37	17	16
2月	5.6	4.9	5.5	5.0	15.0	16.5	−3.8	−6.8	92	63	98	66	20	27
3月	10.1	9.8	10.2	10.0	22.6	23.8	−2.2	−1.5	97	167	106	208	25	47
4月	14.1	15.6	14.2	15.9	25.6	29.0	0.6	3.0	109	193	110	190	30	43
5月	19.7	19.4	19.9	19.6	30.6	31.6	8.0	7.5	99	220	110	209	24	72
6月	22.2	22.4	21.9	22.8	32.4	32.8	12.2	14.0	57	328	59	340	19	75
7月	24.7	26.1	25.0	26.4	35.0	33.8	17.8	19.0	856	327	943	339	217	135
8月	26.6	27.8	26.8	27.8	35.2	37.0	18.2	20.0	50	86	66	120	34	27
9月	22.3	24.3	22.4	24.5	33.0	33.1	12.0	14.8	169	206	144	191	55	39
10月	17.9	18.3	17.8	18.1	29.6	29.5	2.6	5.4	55	94	68	91	31	28
11月	13.8	10.6	13.7	10.5	22.2	22.2	1.0	−2.8	157	6	153	15	63	4
12月	6.9	5.5	6.5	5.3	18.4	18.0	−2.0	−4.0	33	19	38	25	12	9
年平均	15.7	15.8	15.7	15.9	−	−	−	−	−	−	−		−	−
年合計	−	−	−	−	−	−	−	−	1,812	1,746	1,931	1,831	−	−

有明消防組合玉名消防署
岱明は熊本地方気象台岱明地域気象観測所

■男女別・年齢別人口



計46,020人
（昭和59年４月１日現在）

あゆみ

西暦	年号	おもなできごと
840	承和7	疋野神社建立（阿蘇神社と並ぶ式内社）
1589	天正17	加藤清正、第1期菊池川干拓工事着手
1592	20	加藤清正、軍1万を率い高瀬港より朝鮮遠征(壱岐)へ出帆
1605	慶長10	菊池川干拓工事完成
1874	明治7	大浜海岸で海苔の海面試験養殖始まる
1877	10	西南の役、戦場最北端の官軍本営がおかれ熾仁親王とどまる
1878	11	玉名郡役所（郡長）設置（7町165村生まれる）
1889	22	市町村制の実施（玉名郡42町村　人口123,742人）
〃	〃	郡役所高瀬におかれる
1891	24	鹿児島本線開通、高瀬駅（昭和31年玉名駅に改称）できる
1903	36	熊本県立熊本中学校玉名分校開校（明治39年県立玉名中学校となる）
1911	44	電話一般通話開始
1912	45	金栗四三氏　第5回オリンピック、ストックホルム大会に参加
〃	〃	熊本県玉名郡立実科高等女学校開校（大正12年県立高瀬高等女学校となる）
1922	大正11	高瀬大橋完成（当時県下最長の鉄筋コンクリート橋長さ320m、巾5.6m）
1925	14	火力発電所運転開始（昭和30年閉鎖）
〃	〃	新穂登免氏、弥富村に私立玉名実践女学院設立（現玉名女子高等学校）
1935	昭和10	肥後伊倉駅できる
1942	17	高瀬町と弥富村が合併し玉名町となる（2,053世帯10,251人）
1948	23	玉名中学校と高瀬高等女学校が合併し、県立玉名高等学校となる（旧制玉中を第1部、旧制高瀬高女を第2部、旧町村組合立玉名農業学校を第3部とする別学制総合高等学校）
1952	27	玉名高等学校第3部独立し、県立玉名農業高等学校となる
1954	29	玉名市制施行（玉名町、伊倉町、大浜町、築山村、滑石村、豊水村、八喜村、梅林村、小田村、玉名村、月貫村、石貫村の12ヵ町村が合併、8,955世帯、46,569人、初代市長　橋本二郎氏）
〃	〃	玉名市外4カ町村組合立済春病院完成
〃	〃	「玉名市政だより」創刊
〃	〃	玉名市消防本部設置
1955	昭和30	玉名市歌決まる　塵芥焼却場完成（昭和52年休止）
1956	31	南関町三ツ川地区玉名市に編入
〃	〃	市立養老院静光園開設（現老人ホーム静光園　昭和49年移転）
〃	〃	第1回市民体育祭開催　玉名市奨学資金制度制定
1957	32	第12回県民体育祭開催
1958	33	玉陵中学校開校（錦水中学校と小田中学校合併）
〃	〃	小田小学校開校　玉名橋架替工事完成
1959	昭和34	市庁舎落成　上水道工事完成
〃	〃	西部マラソン30キロ大会玉名市で開かれる（これより玉名市に定着、昭和56年より金栗杯玉名30キロロードレース大会に改称）
〃	〃	国道208号開通（町部）
1960	35	蛇ケ谷児童遊園地完成　高瀬大橋架替工事完成
〃	〃	第15回国体　玉高で軟式庭球、玉中でレスリング行われる
〃	〃	玉名駅改築
1961	36	玉名平野土地改良区設立　改良事業に着手
1962	37	玉名市農業協同組合発足（11農協合併）
〃	〃	名誉市民条例制定　金栗四三氏、新穂登免氏推さる
1963	38	県立玉名工業高等学校開校　新産業都市指定　市消防署発足
1964	39	し尿処理場完成　市営温泉保養センター完成（昭和51年閉館）白石堰完成
1965	40	農協会館完成　商工会館完成
〃	〃	市営大衆浴場完成　鹿児島本線電化
1967	42	玉名市民会館完成　菊池川一級河川指定
〃	〃	国道208号（高瀬大橋ー田崎間）全面舗装開通
1968	43	鹿児島本線複線開通（熊本ー荒尾間）
〃	〃	ホームヘルパー設置
1970	45	玉名市交通指導隊発足　有明広域市町村圏指定
〃	〃	第1次農業構造改善事業完了
1971	46	統合玉名中学校発足（玉名町、築山、滑石、昭和48年校舎完成）
1972	47	有明消防組合発足
1973	48	蛇ケ谷公園運動広場完成
〃	〃	機構改革により部制を実施（総務部、市民部、開発振興部）
〃	〃	小岱山キャンプ場完成
1974	49	福祉センター、老人福祉センター開設、市民憲章制定
1975	50	第2次農業構造改善事業完了　松木地区区画整理事業着工
〃	〃	小岱山保全林事業完了　熊本県有明大牟田工業用水道完成
〃	〃	総合庁舎完成
1976	51	玉名農村検診センター完成
1977	52	小岱山林道開通　第32回県民体育祭開催
〃	〃	故橋本二郎氏名誉市民に推さる　一本松団地完成
〃	〃	クリーンセンター完成（昭和59年電気集塵機完成）
〃	〃	し尿処理場増設工事完成　糠峯団地入居開始
1978	53	九州自然歩道小岱山コース完成
〃	〃	国営土地改良事業直轄干拓横島地区公有水面埋立工事完成（市分　1,452,874㎡）
〃	〃	有明中学校発足（大豊中、横島中統合）
〃	〃	身体障害者憩の家開設
〃	〃	新大浜橋利用開始　市政モニター制度発足　声の広報開始
1979	54	玉名市民安全互助会発足
〃	〃	滑石のり網冷蔵施設建設
〃	〃	市の木「小岱松」市の花「肥後しょうぶ」選定
1980	55	国民休養地指定　岱明玉名線高架橋完成
〃	〃	小中学校で米飯給食開始
1981	56	用途地域の決定　玉名消防署新庁舎完成
〃	〃	伊倉隣保館完成　公立玉名中央病院完成
〃	〃	玉名市公共下水道一部供用開始
〃	〃	玉名市文化センター（公民館、市民図書館）完成
1982	57	水際緑化事業裏川、俵ころがし改修工事完成
1983	58	つるの河原運動広場完成　小島架橋着工

歴代の市長・議長

■歴代市長

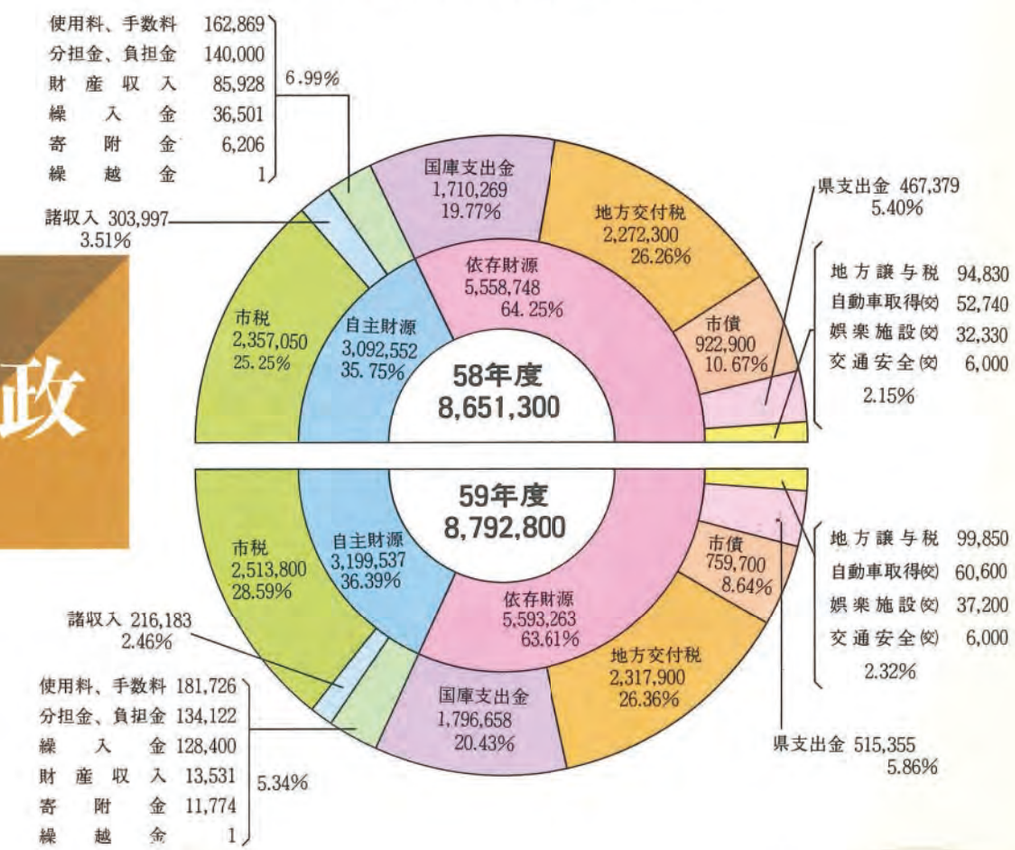
代	氏名	就任	退任
1	橋本二郎	29. 4. 27	33. 4. 26
2	〃	33. 4. 27	37. 4. 26
3	〃	37. 4. 27	41. 4. 26
4	川原弘海	41. 4. 27	45. 4. 26
5	橋本二郎	45. 4. 27	49. 4. 26
6	〃	49. 4. 27	52. 3. 14
7	川原弘海	52. 4. 29	56. 4. 28
8	〃	56. 4. 29	58. 9. 20
9	松本虎之助	58. 10. 30	

■歴代議長

代	氏名	就任	退任
1	猿渡励蔵	29. 4. 5	30. 2. 28
2	蔵土義任	30. 3. 1	31. 10. 26
3	沼田一	31. 10. 27	34. 2. 28
4	蔵土義任	34. 3. 5	36. 3. 9
5	〃	36. 3. 10	38. 2. 28
6	〃	38. 3. 8	40. 3. 5
7	〃	40. 3. 6	41. 7. 2
8	中山新次郎	41. 8. 29	45. 8. 9
9	黒田孝	45. 8. 19	49. 8. 9
10	田川正義	49. 8. 20	53. 8. 9
11	中山新次郎	53. 8. 22	57. 8. 9
12	大潮勢一	57. 8. 25	

財政

■歳入当初予算対前年度比較(単位：千円)



行政機構

市　長
松本 虎之助

助　役
杉原　直之

収入役
潮崎 芳雄

- 総務部
  - 秘書企画課――秘書係・企画係・広報統計係
  - 財政課――財政係・管財係・市民会館係
  - 総務課――行政係・職員係・消防係・交通安全対策室
  - 税務課――市民税係・固定資産税係・収納係
  - 会計課――会計係・用度係
- 市民部
  - 市民課――市民係・戸籍係・保険係・年金係／市民相談係
  - 衛生課――予防係・環境公害係・清掃第一係／清掃第二係
  - 同和対策課――同和対策係・隣保館
  - 福祉事務所――庶務係・保護係・社会係・福祉係／福祉センター・老人福祉センター
  - 静光園老人ホーム
- 建設部
  - 監理課――監理係・建築係・住宅係
  - 土木課――庶務係・土木係・道路維持係／失業対策事業係
  - 都市計画課――管理係・都市計画係・公園緑地係
  - 下水道課――管理係・建設係・維持係
  - バイパス対策室――バイパス対策係
- 農政商工観光部
  - 農業振興課――農政係・農林水産係・農業共済係
  - 耕地課――管理係・耕地係・地籍調査係
  - 商工観光課――商工係・観光係
- 教育委員会 ― 教育長 ― 教育次長
  - 学務課――庶務係・学校教育係・施設係
  - 社会教育課（公民館）――社会教育係・社会体育係
  - 市民図書館――庶務係・奉仕係
  - 学校給食管理室――第一学校給食共同調理場／第二学校給食共同調理場
- 水道局――庶務係・工務係・給水係
- 監査委員――監査事務局
- 農業委員会――農業委員会事務局――農政係・農地係
- 選挙管理委員会――選挙管理委員会事務局――選挙係
- 公平委員会
- 市議会 26人 ― 議長 ― 副議長
  - 常任委員会
    - 総務委員会
    - 経済委員会
    - 建設委員会
    - 文教厚生委員会
  - 議会事務局――庶務係・議事係

昭和59年度一般会計予算

■歳　入

費目	昭和59年度 当初予算額	構成比	昭和58年度 当初予算額	構成比	最終予算額
	千円	%	千円	%	千円
市税	2,513,800	28.59	2,357,050	25.25	2,413,706
地方譲与税	99,850	1.13	94,830	1.09	103,030
娯楽施設利用税交付金	37,200	0.42	32,330	0.37	36,030
自動車取得税交付金	60,600	0.68	52,740	0.60	58,840
地方交付税	2,317,900	26.36	2,272,300	26.26	2,354,900
交通安全対策特別交付金	6,000	0.06	6,000	0.06	6,500
分担金及負担金	134,122	1.52	140,000	1.61	133,848
使用料及手数料	181,726	2.06	162,869	1.88	162,923
国庫支出金	1,796,658	20.43	1,710,269	19.77	1,646,317
県支出金	515,355	5.86	467,379	5.40	468,305
財産収入	13,531	0.15	85,928	0.99	93,919
寄附金	11,774	0.13	6,206	0.07	17,482
繰入金	128,400	1.46	36,501	0.42	36,501
繰越金	1	0.00	1	0.00	197,642
諸収入	216,183	2.46	303,997	3.51	291,457
市債	759,700	8.64	922,900	10.67	1,027,000
合計	8,792,800	100	8,651,300	100	9,048,400

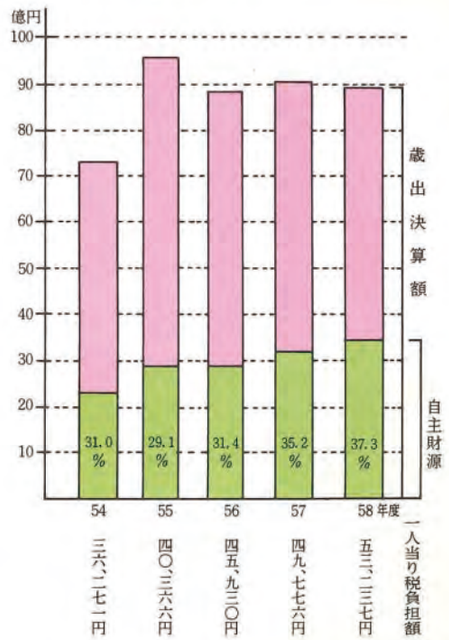
■歳　出

費目	昭和59年度 当初予算額	構成比	昭和58年度 当初予算額	構成比	最終予算額
	千円	%	千円	%	千円
議会費	151,156	1.71	150,835	1.74	152,271
総務費	944,397	10.74	871,473	10.07	1,157,681
民生費	2,300,961	26.16	2,131,480	24.63	2,082,294
衛生費	519,016	5.90	568,226	6.56	596,613
労働費	126,994	1.44	127,161	1.46	119,412
農林水産業費	974,969	11.08	851,323	9.84	832,299
商工費	153,241	1.74	145,447	1.68	165,898
土木費	1,284,218	14.60	1,389,535	16.06	1,508,292
消防費	288,916	3.28	279,229	3.22	270,810
教育費	944,259	10.73	1,091,023	12.61	1,099,873
災害復旧費	10	0.00	35,399	0.40	52,788
公債費	1,082,967	12.31	988,473	11.42	988,473
諸支出金	11,696	0.13	11,696	0.13	11,696
予備費	10,000	0.11	10,000	0.11	10,000
合計	8,792,800	100	8,651,300	100	9,048,400

■昭和58年度一般会計決算状況（見込）

歳入 費目	金額	構成比	歳出 費目	金額	構成比
	千円	%		千円	%
市税	2,449,980	26.8	議会費	150,364	1.7
地方譲与税	109,619	1.2	総務費	1,150,436	12.9
娯楽施設利用税交付金	36,195	0.4	民生費	2,001,443	22.3
自動車取得税交付金	60,076	0.6	衛生費	579,317	6.5
地方交付税	2,408,075	26.3	労働費	118,709	1.3
交通安全対策特別交付金	5,673	0.1	農林水産業費	856,534	9.6
分担金及負担金	71,594	0.8	商工費	163,722	1.8
使用料及手数料	233,138	2.6	土木費	1,518,268	17.0
国庫支出金	1,638,326	17.9	消防費	270,330	2.9
県支出金	486,206	5.3	教育費	1,093,819	12.2
財産収入	95,952	1.0	災害復旧費	57,382	0.7
寄附金	17,483	0.2	公債費	987,475	11.0
繰入金	36,500	0.4	諸支出金	11,695	0.1
繰越金	201,355	2.2	予備費		
諸収入	305,857	3.3			
市債	993,800	10.9	合計	8,959,494	100
合計	9,149,829	100	歳入歳出差引残高	190,335	

■歳出決算額に占める自主財源と市民1人当りの税負担額



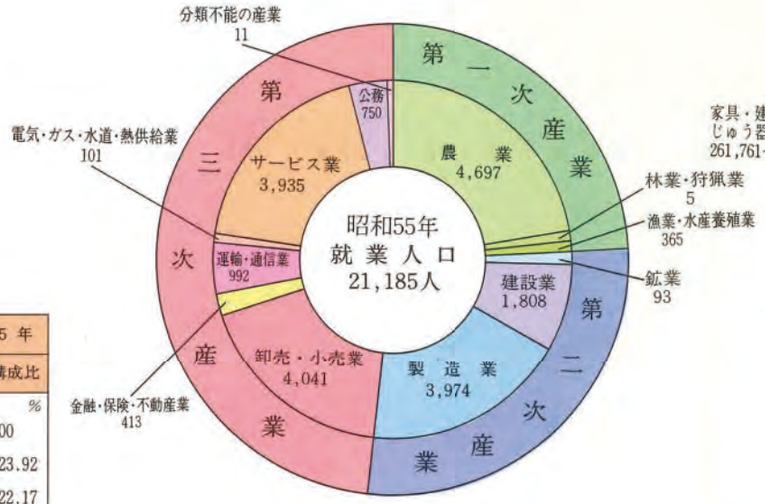
産業

■産業別就業人口の推移

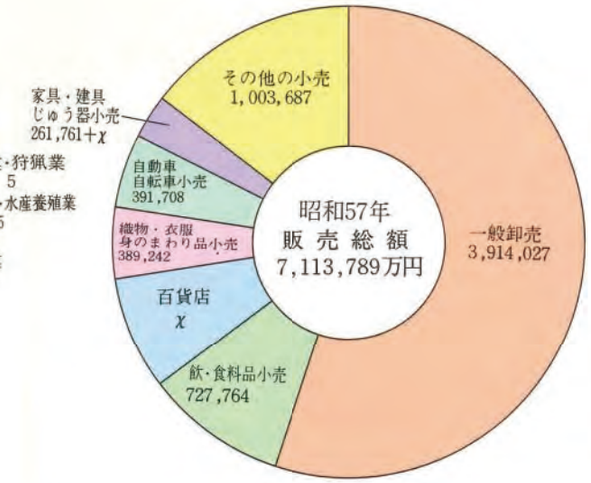
産業分類（大分類）	昭和45年 就業者数	昭和45年 構成比	昭和50年 就業者数	昭和50年 構成比	昭和55年 就業者数	昭和55年 構成比
	人	%	人	%	人	%
総数	20,532	100	19,880	100	21,185	100
第1次産業	8,264	40.25	5,722	28.78	5,067	23.92
農業	8,173	39.81	5,582	28.08	4,697	22.17
林業、狩猟業	3	0.01	8	0.04	5	0.02
漁業、水産養殖業	88	0.43	132	0.66	365	1.73
第2次産業	3,542	17.25	4,894	24.62	5,875	27.73
鉱業	155	0.75	126	0.64	93	0.44
建設業	1,024	4.99	1,434	7.21	1,808	8.53
製造業	2,363	11.51	3,334	16.77	3,974	18.76
第3次産業	8,726	42.50	9,264	46.60	10,243	48.35
卸売業、小売業	3,230	15.73	3,599	18.10	4,041	19.08
金融、保険業	269	1.31	297	1.49	367	1.73
不動産業	23	0.11	43	0.22	46	0.22
運輸、通信業	872	4.25	933	4.69	992	4.68
電気、ガス 水道、熱供給業	97	0.47	97	0.49	101	0.48
サービス業	3,491	17.01	3,557	17.89	3,935	18.57
公務	731	3.56	717	3.61	750	3.54
分類不能の産業	13	0.06	21	0.11	11	0.05

（資料：国勢調査）

■産業別就業人口



■年間商品販売額



■商業の状況

年次	商店数	常時従業者数（人）	売場面積（㎡）	年間商品販売額（万円）	修理・サービス仲立手数料等の収入額（万円）	商品手持額（万円）
昭和49年	954	3,126	37,183	1,977,808	29,193	224,527
昭和51年	1,004	3,385	41,146	3,039,629	47,659	304,091
昭和54年	1,026	3,643	44,155	5,924,897	73,202	471,401
昭和57年	988	3,695	45,280	7,113,789	112,844	540,731
一般卸売	110	714	—	3,914,027	38,051	112,131
百貨店	2	χ	χ	χ	—	χ
織物・衣服・身のまわり品小売	113	421	6,961	389,242	497	101,793
飲・食料品小売	371	929	13,337	727,764	1,108	50,544
自動車・自転車小売	51	246	1,045	391,708	52,563	9,759
家具・建具・じゅう器小売	102	295+χ	8,293+χ	261,761+χ	3,404	56,032+χ
その他の小売	239	940	7,127	1,003,687	17,221	142,284
飲食店	212	516	—	198,369	—	—

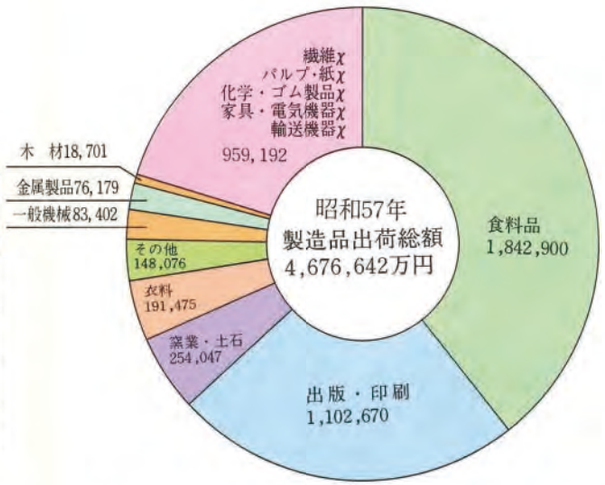
（資料：商業統計調査）

■農家の状況

年次	農家数 総数	専業	第1種兼業	第2種兼業	農家人口	内農業従事者数
	戸	戸	戸	戸	人	人
40	4,672	1,294	1,869	1,509	24,101	9,779
45	4,564	923	1,812	1,829	21,945	9,539
50	4,314	511	1,406	2,397	19,648	7,020
55	4,018	538	1,005	2,475	17,892	5,471

（資料：農業センサス）

■年間工業出荷額



■工業の推移

年度	事業所数	従業者数	製造品出荷額
	カ所	人	万円
54年	100	3,460	3,414,287
55年	98	3,320	4,183,428
56年	96	3,481	4,555,001
57年	89	3,427	4,676,642

（注：従業員4人以上）

■工業の状況

57. 12. 31

区分	事業所数	従業者数	製造品出荷額
	カ所	人	万円
食料品	32	887	1,842,900
繊維	—	—	—
衣料	11	682	191,475
木材	3	30	18,701
家具	1	χ	χ
パルプ・紙	1	χ	χ
出版・印刷	12	610	1,102,670
化学	1	χ	χ
ゴム製品	1	χ	χ
窯業・土石	10	291	254,047
鉄鋼	—	—	—
金属製品	7	80	76,179
一般機械	3	71	83,402
電気機器	1	χ	χ
輸送機器	1	χ	χ
その他	5	164	148,076

（資料：工業統計調査）

■農産物粗生産状況

（単位：百万円）

年度	総額	米	麦	豆類	いも類	工芸作物	野菜	果樹	飼料作物	養蚕	花き種苗	乳用牛	肉用牛	豚	にわとり	その他
55	7,196	2,677	284	43	108	221	1,101	1,231	—	76	123	222	167	479	455	9
56	7,636	2,894	354	71	119	213	1,059	1,379	—	66	109	223	143	493	499	14
57	7,546	2,735	314	67	86	186	1,050	1,560	—	64	106	243	161	519	406	49

（資料：農林統計）

■経営耕地面積

年次	総面積	田	畑	樹園地等
	ha	ha	ha	ha
40	3,255	2,266	557	432
45	3,336	2,373	397	566
50	3,139	2,311	303	525
55	3,008	2,278	339	341

（資料：農業センサス）

■水産状況

区分	昭和57年度 生産量	昭和57年度 生産額	昭和58年度 生産量	昭和58年度 生産額
	千枚	千円	千枚	千円
海苔	47,963	429,340	90,599	968,730
魚貝類	t 5,079	1,401,060	t 5,590	1,507,836
漁船登録数		隻 432		隻 468

（資料：港勢調査）

生活環境

■公営住宅状況

（単位：戸）

区分		昭和53年度末	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	計
木造	1種	41						41
	2種	52						52
簡易耐火	1種	256						256
	2種	221		6	6	20	10	263
中層耐火	1種	104	24					128
	2種	152	24	32				208
計		826	48	38	6	20	10	948

■市道及び橋梁の状況

59．3．31（単位：m）

区分	8.5m以上	8.5m未満 6.5m以上	6.5m未満 4.5m以上	4.5m未満	計
延長	7,453	16,006	112,235	186,024	321,718
舗装済延長	6,911	15,084	103,816	145,858	271,669
未舗装延長	542	923	8,418	40,166	50,049
舗装率	92.7%	94.2%	92.5%	78.4%	84.4%

区分	個数	延長
永久橋	343	1,952
木橋	8	168
計	351	2,119

■市道舗装状況

（単位：m）

区分	54年度	55年度	56年度	57年度	58年度
総延長	314,547	316,404	316,590	323,873	323,837
舗装済延長	225,056	247,022	254,712	270,521	273,730
舗装率	71.6%	78.1%	80.5%	83.5%	84.5%

■上水道

区分	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度
給水戸数（戸）	7,328	7,670	8,025	8,219	8,406
給水人口（人）	26,380	27,458	28,569	29,013	29,505
総配水量（㎥）	3,207,295	3,034,045	3,306,275	3,432,428	3,573,780
総給水量（㎥）	2,627,733	2,645,497	2,813,571	2,891,890	3,023,509
1日平均配水量（㎥）	8,787	8,312	9,058	9,404	9,791
1日平均給水量（㎥）	7,199	7,248	7,708	7,923	8,284
有収率（%）	81.9	87.2	85.1	84.3	84.6

■下水道の状況

区分	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度
処理面積（ha）	106.5	125.9	188.0
処理人口（人）	4,852	5,768	8,148
区域内戸数（戸）	1,470	1,755	2,535
水洗化戸数（戸）	558	1,006	1,571
水洗化人口（人）	1,841	3,130	5,184

■月別給水使用量　昭和58年

（単位＝㎥）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
給水使用量	214,598	227,761	234,943	205,274	233,315	216,259	262,906	277,368	314,856	315,020	249,105	242,768

厚生

■医療衛生施設状況

59．4．1（単位：カ所・床）

保健所	病院 施設数	病院 病床数 結核	病院 病床数 一般	病院 病床数 精神病	診療所 施設数	診療所 病床数	歯科診療所	薬局	一般販売業	薬種商	特例販売業
1	5	30	362	395	43	398	12	9	5	10	0

（資料：玉名保健所）

■国民年金加入・支給状況

年度	加入者数 総数	強制	任意	支給状況 総数	老齢	障害	母子	遺児	寡婦	支給額	死亡一時金 件数	金額
	人	人	人	件	件	件	件	件	件	千円	件	円
53	13,191	11,221	1,970	3,217	3,008	110	74	2	23	719,553	28	686,500
54	13,017	10,999	2,018	3,605	3,382	124	71	4	24	844,839	20	485,500
55	12,781	10,737	2,044	3,891	3,660	133	72	3	23	990,895	33	810,000
56	12,304	10,247	2,057	4,199	3,961	138	75	1	24	1,151,569	17	414,500
57	11,917	9,979	1,938	4,491	4,254	145	65	1	26	1,281,002	23	581,000
58	11,589	9,703	1,886	4,795	4,550	155	58	1	31	1,367,837	25	654,000

■福祉年金給付状況

年度	総額 人員	総額 金額	障害福祉年金 人員	障害福祉年金 金額	老齢福祉年金 人員	老齢福祉年金 金額	母子福祉年金 人員	母子福祉年金 金額
	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
53	2,834	558,018	422	113,874	2,411	443,886	1	258
54	2,662	632,511	414	133,350	2,247	498,848	—	—
55	2,553	680,745	408	146,645	2,145	534,100	—	—
56	2,413	680,784	411	156,514	2,006	524,271	—	—
57	2,245	666,620	408	163,752	1,837	502,868	—	—
58	2,094	622,133	406	161,645	1,688	460,488	—	—

■国民健康保険状況

年度	世帯	人口	加入状況 世帯	加入率	人口	加入率	保険税 調定額	1世帯当り	1人当り	療養諸費 件数	総費用額	保険者負担	1世帯当り費用額	1人当り費用額	1人当り受診件数
	戸	人	戸	%	人	%	千円	円	円	件	千円	千円	円	円	件
53	12.241	44.524	7,312	59.7	22,178	49.8	413,951	56,613	18,665	143,998	1,920,652	1,348,209	262,671	86,602	6.5
54	12.488	44.961	7,431	59.5	22,130	49.2	573,175	77,133	25,900	147,864	2,262,261	1,588,151	309,390	102,226	6.7
55	12.665	45.370	7,563	59.7	21,943	48.4	689,129	91,118	31,405	150,908	2,467,563	1,728,283	326,268	112,453	6.9
56	12.846	45.722	7,622	59.3	21,572	47.2	741,492	97,283	34,373	152,806	2,788,072	1,957,626	365,793	129,245	7.1
57	13.008	45.916	7,676	59.0	21,385	46.6	775,536	101,034	36,265	150,564	2,812,039	1,970,286	366,342	131,496	7.0
58	13.098	46.020	7,688	58.7	18,049	39.2	801,589	104,265	38,073	108,757	1,667,915	1,174,260	216,950	92,410	6.0

（注）58年2月より老人保健法施行

■住民検診状況

（単位：人、%）

年度	結核検診 対象者数	受検者数	受検率	胃ガン検診 対象者数	受検者数	受検率	子宮ガン検診 対象者数	受検者数	受検率
55	13,100	6,633	50.6	19,979	387	1.9	14,517	487	3.4
56	14,341	5,615	39.2	20,164	1,399	6.9	14,534	1,363	9.4
57	22,876	11,843	51.8	20,653	1,250	6.1	14,924	1,248	8.4
58	21,853	11,764	53.8	16,808	855	5.1	11,952	1,063	8.9

■老人医療状況

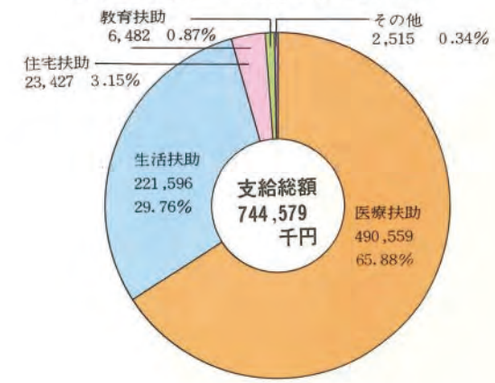
（注）58年2月より老人保健法施行

年度	対象者	市人口に対する割合	療養件数	費用	1人当り件数	1件当り費用	1人当り費用
	人	%	件	千円	件	円	円
53	3,242	7.3	44,168	245,856	13.6	5,566	75,834
54	3,464	7.7	48,094	275,295	13.9	5,724	79,473
55	3,615	8.0	50,861	295,832	14.1	5,816	81,835
56	3,729	8.2	54,143	354,211	14.5	6,542	94,988
57	3,883	8.5	53,432	364,071	13.8	6,814	93,760
58	4,216	9.2	57,779	2,110,469	13.7	36,527	500,586

■生活保護状況

年度	保護費支給額	1ヵ月平均世帯数	1ヵ月平均人員	市民1,000人当り	1ヵ月1人当り給付額 給付総額	生活扶助	医療扶助	他の扶助
	千円	戸	人	人	円	円	円	円
52	549,213	443	80[illegible]	18.5	57,209	15,100	40,267	1,842
53	629,000	447	807	18.4	65,032	16,977	45,972	2,083
54	690,337	445	796	17.9	72,271	18,155	51,892	2,224
55	650,756	427	741	16.5	73,184	19,425	51,131	2,628
56	683,451	412	720	15.9	79,103	21,497	54,644	2,962
57	708,118	415	741	16.4	79,635	22,949	53,395	3,291
58	744,579	425	756	16.6	82,074	24,427	54,076	3,571

昭和58年度　生活保護費支給状況



教育文化

■学校及び児童生徒数

昭和59年5月1日（単位：校・級・人）

区分	学校数	教員数	学級数	児童生徒数 総数	児童生徒数 男	児童生徒数 女	公立私立の別
小学校	13	185	134	3,985	1,978	2,007	公立
中学校	4	107	56	(233) 2,189	(122) 1,106	(111) 1,083	〃
高等学校	2	128	58	2,332	1,061	1,271	〃
〃	1	66	22	923	—	923	私立
幼稚園	3	31	—	629	330	299	〃

（　）は再掲で有明中学校の横島町分　　（資料：学校基本調査）

■市民図書館利用状況

年度	蔵書数	登録者数	貸出冊数	市民1人当り貸出冊数	開館日数	開館日1日当り貸出冊数
昭和56年度	35,723冊	10,706人	243,567冊	5.31冊	270日	902冊
昭和57年度	43,272	13,330	237,109	5.15	284	835
昭和58年度	52,602	15,293	247,879	5.36	286	867

■社会教育関係団体数・会員数

59年度

団体名	団体数	会員数
子ども会	89団	3,431人
スポーツ少年団	6	131
ボーイスカウト	1	74
ガールスカウト	1	49
青年団	12	297
婦人会	13	4,237
PTA	17	5,063
老人会	19	2,876
文化協会	31	1,470

■文化財の宝庫…玉名

○大坊古墳・ナギノ横穴群・穴観音横穴・山田の藤など。国指定文化財6、県指定文化財9、市指定文化財47があり、史跡、工芸、絵画、彫刻、書跡、考古、民俗文化財、芸能、天然記念物などが数多く現存しています。

■十分な設備で保護されている大坊古墳

■石貫ナギノ横穴群

玉名市の文化財

■国指定文化財

No.	種別	名称
1	史跡	石貫穴観音横穴
2	〃	石貫ナギノ横穴群
3	〃	大坊古墳
4	重文	紙本墨書広福寺文書
5	〃	大智墨蹟東谷明光除夜偈
6	〃	広福寺伝衣付属状

■県指定文化財

No.	種別	名称
1	史跡	永安寺東古墳
2	〃	永安寺西古墳
3	〃	青木磨崖梵字群
4	〃	六反製鉄跡
5	美術工芸	太刀宗広
6	天然記念物	山田の藤
7	〃	伊倉舟つなぎの銀杏
8	重文	大平野寺、小山観音堂関係文書・正法寺絵図
9	建造物	高瀬目鏡橋

■山田の藤

■市指定文化財

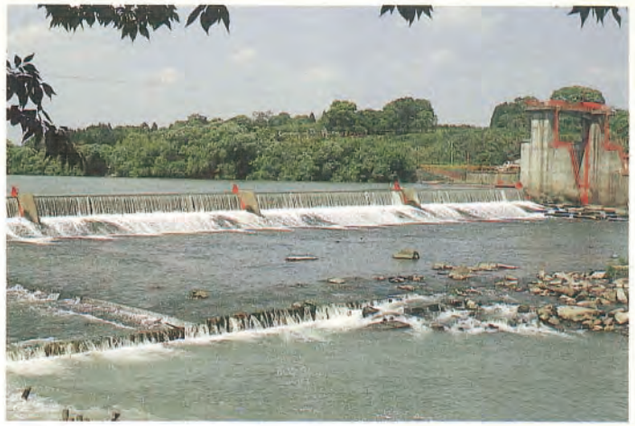
No.	種別	名称
1	工芸	大浜外島宮蔵廻船模型
2	絵画	〃　絵馬「大浜港」
3	史跡	〃　高麗犬
4	彫刻	聖観世音菩薩木像
5	史跡	吉利支丹墓碑
6	〃	繁根木補陀落渡海碑
7	〃	宇佐公満墓
8	〃	宇佐大宮司公長逆修塔
9	〃	伊倉保一方地頭沙弥行恵供養塔
10	〃	肥後四位官郭公墓
11	絵画	僧豪潮筆水墨絵座具
12	書跡	僧豪潮筆紺紙金泥仏説阿弥陀経
13	工芸	小岱焼流釉茶碗
14	〃	小岱焼梅模様四脚盃洗
15	〃	小岱焼竹篦模様筒型水差
16	〃	九州肥後同田貫上野介
17	絵画	僧豪潮画併題文珠菩薩画像
18	書跡	僧豪潮筆六曲屏風
19	工芸	廻船用鍛鉄製錨
20	史跡	僧豪潮建立宝筐印塔
21	工芸	肥後同田貫宗広
22	考古	大坊古墳出土品
23	史跡	玉名郡倉推定地
24	民俗文化財	梅林天満宮「流鏑馬」
25	書跡	僧豪潮墨跡宝筐印陀羅尼経文
26	考古	浄光寺蓮華院跡出土鎮壇具及び古瓦
27	工芸	伊倉八幡宮麒麟香炉
28	史跡	建長の塔
29	工芸	肥後四位官郭公墓出土青磁
30	天然記念物	伊倉南八幡宮の大樟
31	書跡	紙本墨書大智仏法僧一行書
32	史跡	伝佐山古墳
33	考古	小路古墳付出土品一括
34	彫刻	清源寺釈迦如来坐像、木造多聞天立像
35	〃	清源寺六観音、木像釈迦如来坐像
36	史跡	宝成就寺跡古塔碑群石仏群
37	考古	馬出古墳出土品一括
38	彫刻	脱乾漆造釈迦三尊像
39	〃	木造地蔵菩薩半跏像
40	芸能	築山の花棒踊り
41	天然記念物	伊倉南八幡宮のなぎ
42	民俗文化財	山田白山宮比売神12坊祭礼記録帳付12坊塔碑
43	史跡	高瀬舟着場跡
44	彫刻	読坂鋳造阿弥陀如来立像
45	天然記念物	青木熊野神社のナギ群
46	史跡	山田昆沙門脇の宝塔
47	工芸	九州肥後同田貫正国

○蓮華院誕生寺奥之院
天草、雲仙を展望する県立公園小岱山の中腹に壮大な伽藍を有する境内があり、世界一の大梵鐘や登って修業のできる大きさで全国第一の五重の塔があります。

○高瀬目鏡橋
嘉永元年９月、菊池川の支流裏川に架けられた凝灰岩の二重橋で付近一帯は、昭和55年に指定を受けた水際緑化都市モデル事業により公園化され、市民の散策の場となっています。

○蛇ヶ谷自然公園
広さ18.6ヘクタール、高さ50メートルの小山のなだらかな傾斜地帯で、山上展望台、ふもとに遊園地があり、サクラ、ツツジ、イタリヤポプラなど１万本が植樹され、市民の憩いの場となっています。

●土産品
焼　　物：小岱焼
郷土玩具：木葉猿
菓　　子：高瀬飴　俵もなか　松の雪
　　長者饅頭　白鷺ばやし　梵鐘まんじゅう
食 料 品：有明のり　味付のり　蜂蜜
そ の 他：つばき油　竹細工



○白石堰
江戸時代総庄屋であった小森田七衛門がかんがい用堰として築き昭和39年近代化され、夏にはバカンス族の別天地として利用されています。

○玉名温泉
県立公園小岱山麓にあり、全国有数の泉質と1,200余年の泉歴を誇り、近隣には三井グリーンランド、田原坂、菊水町民家村、ゴルフ場などもあり、多くの観光客が訪れています。

主な祭と行事

初　　市……３月３、４日
金栗杯玉名30キロロードレース大会……３月下旬
玉名まつり……４月上旬
伊倉八幡宮春季大祭…４月15日（ねり嫁）
手作りイカダ菊池川川下り大会…夏
納涼花火大会……８月５日
市民盆踊り大会……８月13日
伊倉八幡宮秋季大祭…10月15日（ねり嫁）
疋野神社大祭……10月15日
繁根木八幡宮大祭……10月28、29日（節頭飾馬）
梅林天満宮大祭……11月25日（流鏑馬）

市制施行30周年記念「玉　名」
編集　熊本県玉名市総務部秘書企画課
発行　〒865　熊本県玉名市繁根木163